

株主通信

第75期

2025年3月1日～2026年2月28日



ハンガリー、ブダペストを流れる青きドナウ川

TOPICS ①

「健康経営銘柄」に初めて選定されました

健康経営に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所による「健康経営銘柄」に初めて選定されました。健康経営銘柄は、「ホワイト500」（「健康経営優良法人」の大規模法人部門の上位500社）の中から、従業員の健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践する「健康経営」に特に優れた企業のみ（健康経営銘柄2026では44社のみ）が選出されるものです。なお、「健康経営優良法人（ホワイト500）」にも8年連続で認定されました。今後も、社員が健康に過ごせる健康経営を戦略的に実践し、組織の活性化と生産性の向上、ウェルビーイングの実現を目指してまいります。



健康経営アワード2026

3年連続で、過去最高の売上高・利益を更新しました。



代表取締役
社長執行役員 兼 CEO
古野 幸男

商船向け市場をはじめ、好調な需要環境が継続しています。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、先行きが不透明な状況が続く中、米国では総じて堅調に、欧州ではプラス成長を維持し、わが国でも内需は底堅さを維持しました。

こうした中、当社グループの関連する市場において、船用事業のうち商船向け市場では、船舶需要の不確実性により新造発注隻数は以前より減少しているものの、GHG(温室効果ガス)排出量削減のための代替燃料船需要は高く、造船会社の手持ち工事量は継続して増加しています。漁業向け市場では、アジアの需要が好調に推移しました。プレジャーボート向け市場全体は軟調に推移する一方、戦略製品の販売は好調です。

産業用事業では、ITS・GNSS市場における国内の自動車販売台数は回復傾向にあります。また、防衛装備品事業における国内の防衛関連市場は、防衛予算の増額に伴い拡大。無線LAN・ハンディターミナル事業における国内の教育ICT市場では、ICT整備に関する通信インフラ機器の更新需要は低調に推移しました。

中期経営計画のもと、持続的成長の実現に向け、積極的な投資を進めます。

これらの結果、当連結会計年度の売上高及び全段階利益において、前年同期比で大幅に増加しました。3年連続で過去最高の売上高・利益を更新したと同時に、2018年12月に策定した「FURUNO GLOBAL VISION “NAVI NEXT 2030”」で掲げた2031年2月期の成長目標である連結売上高1,200億円、営業利益率10%を2年連続で達成する結果となりました。

当社グループは、中期経営計画フェーズ2の最終年度を終え、2027年2月期より「中期経営計画フェーズ3」の初年度を迎えます。市況変動に左右されない事業構造への変革を推進し、持続的成長の実現に向け、人財をはじめとする経営資源への積極的な投資を進めてまいります。

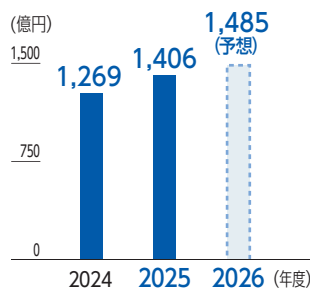
株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年5月

連結業績ハイライト (第75期)

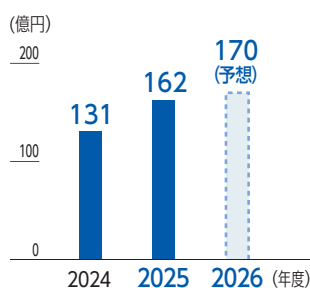
売上高

1,406億円
前年比10.8%増 ▲



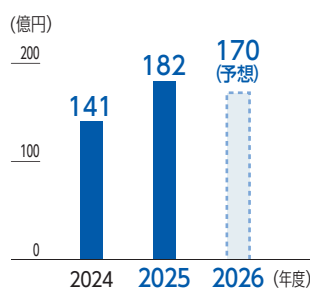
営業利益

162億円
前年比23.3%増 ▲



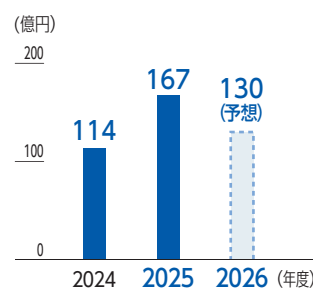
経常利益

182億円
前年比29.2%増 ▲



親会社株主に帰属する当期純利益

167億円
前年比46.1%増 ▲



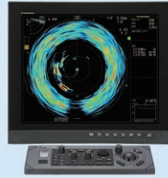
配当について

当期の期末配当金につきましては、1株当たり85円とさせていただきます。これにより、中間配当金の1株当たり75円と合わせ、年間配当金は1株当たり160円となります。

船用事業

売上高
1,211億円
セグメント利益
167億円

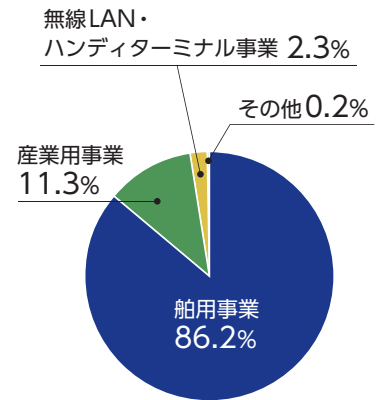
- 主な製品
- 航海機器
 - 無線通信装置
 - 漁業機器



全周型カラースキャンソナー
CSH-10

- 米州では、プレジャーボート向け市場において、今期上市した戦略製品を中心に販売が増加。欧州では、主に商船の既存船向け機器の販売や保守サービスが高い水準を維持しました。
- アジアでは主に商船の新造船向け機器の販売が増加し、日本では商船向けの機器販売や保守サービスが増加しました。

事業別売上高構成比



産業用事業

売上高
158億円
セグメント利益
7.8億円

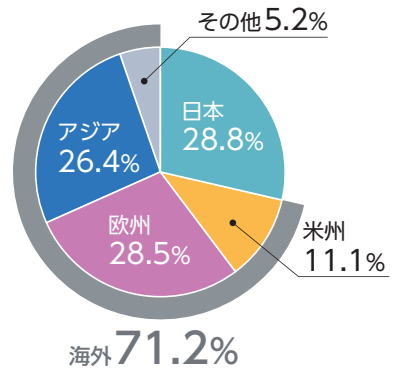
- 主な製品
- 時刻同期製品
 - ETC車載器
 - 医療機器



時刻同期用
GNSS受信モジュール
GT-100/GT-90/GT-9001

- ヘルスケア事業における生化学分析装置の販売が減少しました。ITS・GNSS事業においては、時刻同期製品の販売が海外向けを中心に好調に推移しました。
- 防衛装備品事業では、新たな生産管理システムへの移行による影響は解消され、生産出来高は継続して増加しました。

地域別売上高構成比



無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高
33億円
セグメント利益
1.3億円

- 主な製品
- 無線LAN機器
 - 無線ハンディターミナル



Wi-Fi7対応
無線LANアクセスポイント
ACERA EW770

- 主に文教市場向けの需要環境は低調に推移し、無線LANアクセスポイントの販売が減少しました。

詳細な財務情報はフルノ企業情報サイトをご覧ください。

<https://www.furuno.co.jp/>
>IR・投資家情報

TOPICS 2

自律航行システム搭載の旅客船が、世界初の商用運航を開始

当社は、公益財団法人日本財団が2020年より推進する、無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」に参画しています。当社が開発した自律航行システムを搭載した、プロジェクト実証船である離島航路旅客船「おりんぴあどりーむせと」が、2025年12月、国の行う船舶検査に合格。一般旅客が乗船する定期船として、自動運航機能（自動運転レベル4相当*）を活用した商用運航を、世界で初めて開始することになりました。今後も、離島航路の維持や船員不足など、さまざまな社会課題を解決するため、無人運航船プロジェクトに取り組んでまいります。

*完全自動運航が一部可能な技術段階



プロジェクト実証船「おりんぴあどりーむせと」

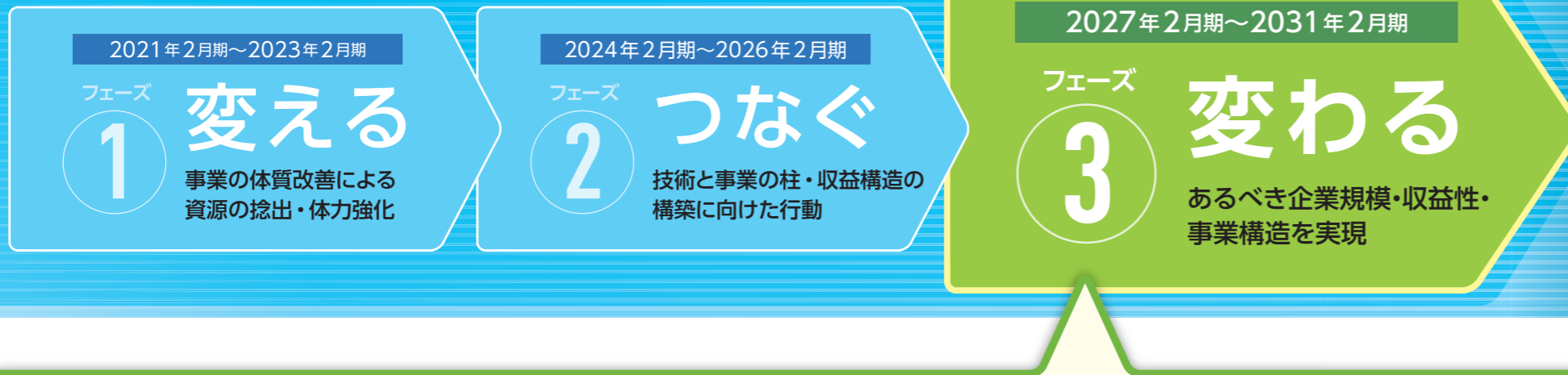


中期経営計画を策定

[2027年2月期～2029年2月期]

当社は2030年度を最終年度とする経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION “NAVI NEXT 2030”」を策定しています。成長目標は「連結売上高1,200億円、営業利益率10%」と設定しましたが、2025年2月期において過去最高業績を更新し、前倒しで達成しました。この結果を踏まえ、2027年2月期から2029年2月期までを対象とする中期経営計画を策定しました。「過去最高業績の更新で得た力を将来成長に投じ、積極投資で成長基盤を築く3ヶ年」と位置づけて、持続的な成長に向け戦略的な投資を一層推進し、企業価値のさらなる向上を目指します。

中期経営計画



FURUNO GLOBAL VISION

NAVI NEXT 2030

| | |
|---|--|
| 事業ビジョン 安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現 | 2031年2月期の目標 成長目標は2025年2月期に前倒しで達成しました！ |
| 人財・企業風土ビジョン VALUE through GLOBALIZATION and SPEED | 連結売上高 1,200億円 達成! |
| | 営業利益率 10% 達成! |

2029年2月期の目標

| | | | |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|
| 企業規模 売上高 | 1,500億円 | 収益性 営業利益率 | 10%以上 |
| 収益性 ROE/ROIC | 10%以上 | 株主還元 総還元性向 | 40%相当 |

事業別戦略

船用事業

【商船】
新造船向けのシェアを維持しつつ、換装では顧客基盤を活用し売上・利益の拡大を図ります。併せて、サービスエリア拡大やリモート監視による効率的な体制を構築します。

【漁業】
機器とデータ活用を通じた「勤と経験の見える化」により、操業の効率化と安全性向上に貢献する製品・サービスを提供します。

【プレジャー】
顧客ニーズを的確に捉えた商品企画を継続的に行うとともに、クルージングやカジュアル用途を中心としたボートユーザーへの販路拡大を進めます。

【ワークポート】
国内外を問わず、官公庁船向け機器の開発及び計画的な販売投入を進めるとともに、他のワークポート案件の安定的な受注獲得を目指します。

産業用事業

【GNSS・ITS・ヘルスケア】
成長の柱としてGNSS技術のさらなる高度化を進め、海外市場での販促を強化するとともに、ITS技術の高度化及び社会実装の加速を図ります。

【無線LAN・ハンディターミナル】
文教市場での既存製品の更新需要を安定的に取り込むとともに、ソフトウェアサービス基盤の強化や商品ラインナップの拡充により、新規市場の開拓を進めます。

成長ストーリー

市況変動に左右されない、事業構造への変革・投資の強化を進めます

主力分野 をさらなる成長へ

SPC&I*技術の深化で、造船市場（商船）、漁船市場において、グローバルトップシェアを保持し、国内産業用事業（ITS、無線LAN等）の安定収益化を実現し、「なくてはならないFURUNO」に向けた顧客対応力を強化します。

投資強化 でさらなる成長へ

保守メンテナンス事業、プレジャーボート向け事業、ワークポート向け事業、防衛装備品事業、時刻同期事業（GNSS）のほか、当社の強みが活かせる新規事業を見極め、さらなる投資によって成長を実現します。

投資強化の内訳

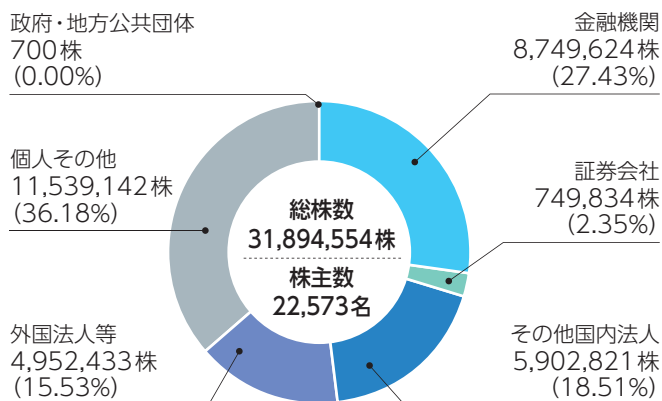
| | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-------|-----|--------|-----|----|----|------|----|------|----|
| 保守メンテナンス | 250 | プレジャー | 160 | ワークポート | 140 | 防衛 | 70 | GNSS | 40 | 新規事業 | 40 |
|----------|-----|-------|-----|--------|-----|----|----|------|----|------|----|

売上内訳

| | | |
|----------|--------------|--------|
| 2024年度実績 | 2028年度中期経営計画 | さらなる成長 |
| 主力分野 740 | 主力分野 800 | 主力分野 |
| 投資強化 530 | 投資強化 700 | 投資強化 |

*SPC&I: Sensing (センシング)、Processing (情報処理)、Communication (情報通信) & Integration (統合)

■ 株式の状況 (2026年2月28日現在)



※個人その他には、自己株式286,730株(0.90%)を含んでおります。

■ 大株主の状況 (2026年2月28日現在)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|----------|----------|
| 古野興産株式会社 | 4,186 | 13.24 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,913 | 9.22 |
| 第一生命保険株式会社 | 1,000 | 3.16 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 992 | 3.14 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行 | 942 | 2.98 |
| 古野電気取引先持株会 | 915 | 2.90 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 753 | 2.38 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 | 660 | 2.09 |
| エコ一興産有限会社 | 560 | 1.77 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385781 | 362 | 1.15 |

※持株比率は、自己株式286,730株を控除して計算しております。

■ 会社概要 (2026年2月28日現在)

| | |
|-------|--------------------------|
| 社名 | 古野電気株式会社 |
| 設立年月日 | 1951年(昭和26年)5月23日 |
| 本社所在地 | 〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号 |
| 資本金 | 7,534百万円 |
| 主な事業 | 船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売 |
| 従業員数 | 3,411名(連結) 1,954名(個別) |

株主様 WEBアンケートのお願い

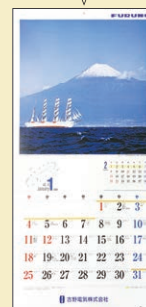
当社では、本アンケートを株主様の動向を知るとともに、株主様の声を聞き、ご要望にお応えしていくための重要なコミュニケーションのひとつと考えています。お手数ですが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

回答期限: 2026年6月30日(火)まで

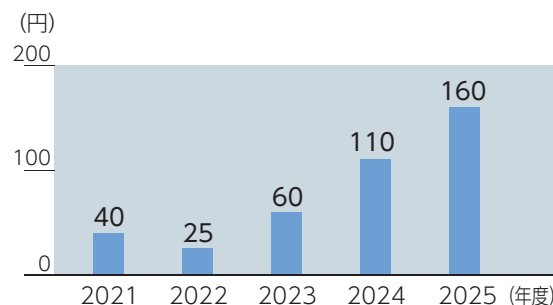
<https://forms.cloud.microsoft/r/ez53QfNmYS>

※カレンダーは、2026年12月上旬に発送させていただきます。

ご回答いただいた
100株以上保有の株主様に
「FURUNOカレンダー
2027」をプレゼント!



■ 配当金の推移



株主メモ

| | |
|--|--------------------------------|
| 事業年度 | 毎年3月1日から翌年2月末日まで |
| 定時株主総会 | 毎年5月開催 |
| 基準日 | |
| 定時株主総会 | 毎年2月末日 |
| 期末配当金 | 毎年2月末日 |
| 中間配当金 | 毎年8月31日 |
| その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。 | |
| 公告の方法 | 電子公告 (http://www.furuno.co.jp) |
| ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 | |
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場金融商品取引所 | 株式会社東京証券取引所 プライム市場 |

| | |
|-------------------------|--|
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同 連 絡 先 (お 問 い 合 わ せ 先) | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (ご利用時間: 土・日・休日を除く9:00 ~ 17:00) |
| お 取 扱 窓 口 | お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店) みずほ信託銀行 |
| 特別口座管理機関お取扱店 | みずほ信託銀行 |
| 未 払 配 当 金 の お 支 払 | みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 |

